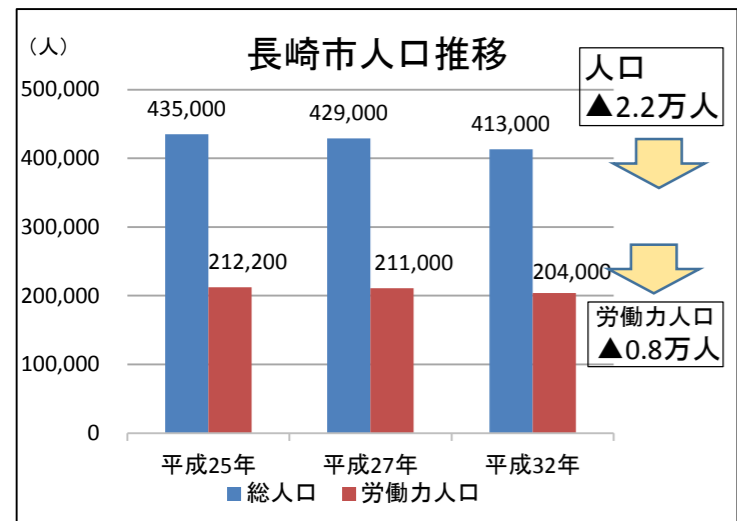


第四次経済成長戦略の全体像

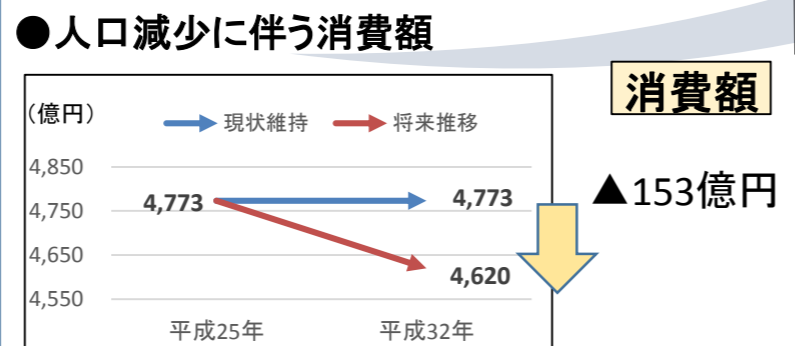
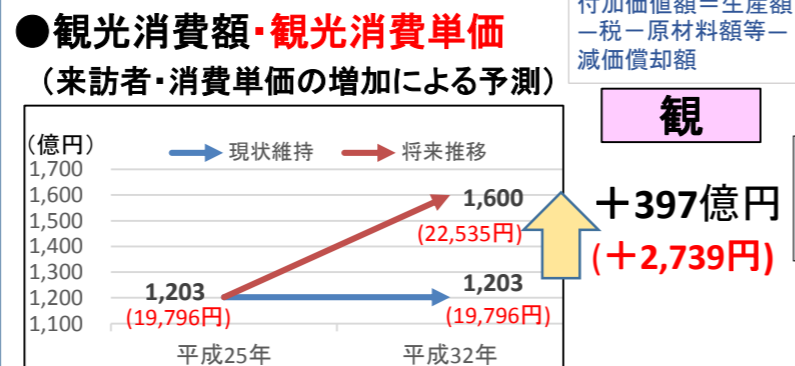
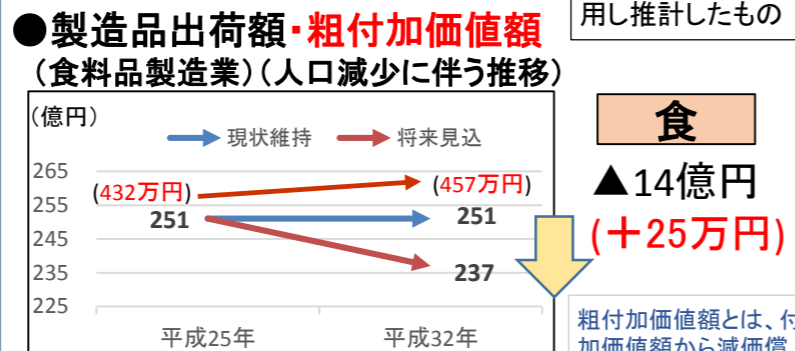
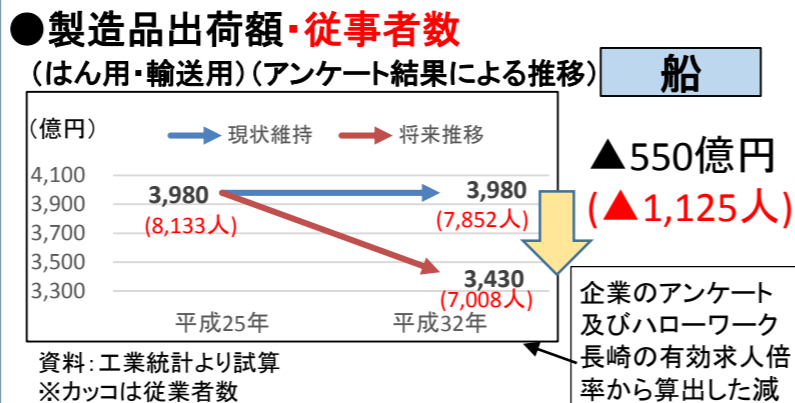
長崎経済の課題

戦略の目標とその考え方



資料: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

平成32年の予想推移額 (H25-H32)



資料: 長崎経済研究所 ※平成25年の消費額は平成22年から平成32年の減少額を参考に推計したもの

平成32年の目標値 (H25-H32)

製造品出荷額 **3,980億円** を維持
補助代替指標 従事者数 **7,852人の確保**

※平成24年～平成26年の平均 ※企業アンケート結果から算出から算出

目指す方向性
人財確保、生産性向上、高付加価値船舶・製品の製造、新分野への進出等

製造品出荷額 **251億円** を維持
補助代替指標 従業者1人当り粗付加価値額 **457万円**

※定年退職者数の見込及び有効求人倍率2.26倍を加味した減少率5.38%を使用し算出

目指す方向性
収益性向上、市場拡大、商品価値向上、土産品の開発・改良、顧客開拓等

観光消費額 **1,600億円**
補助代替指標 観光消費単価 **22,535円**

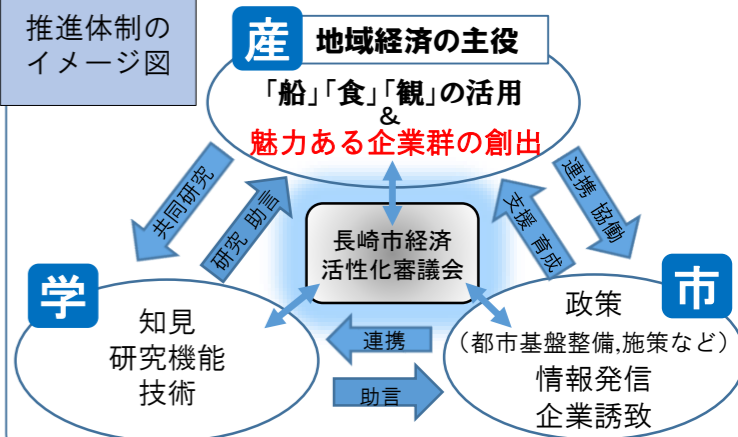
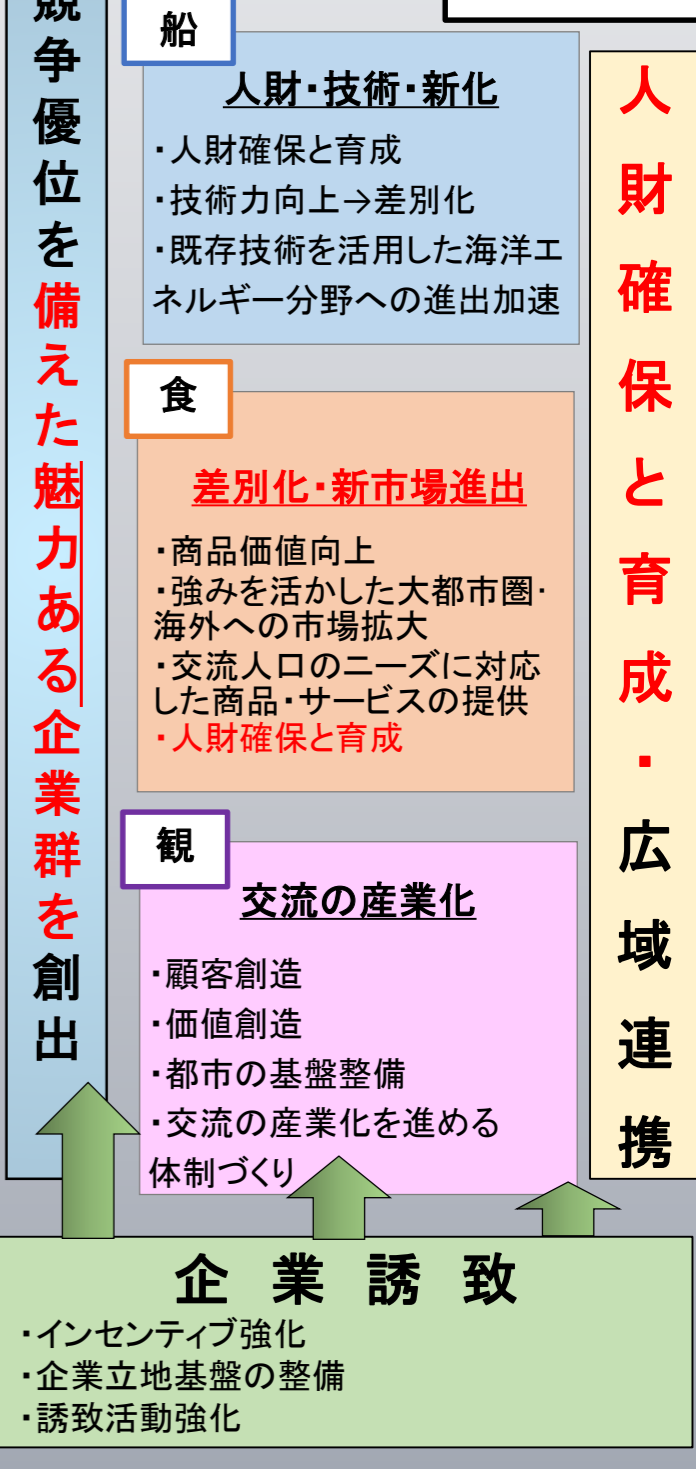
目指す方向性
人口減少に伴う消費額の減少を、観光消費額やその経済波及効果などで補う

企業誘致による雇用者数累計と給与総額 (H25-H32)
248人⇒2,610人 (80億円)

※カッコの数値は平均年間給与310万円(40歳未満常用労働者)に雇用者数累計を乗じたもの

目指す方向性
長崎の強みを生かし、ターゲットを絞り込んだ企業誘致の推進

戦略 《主体は事業者》



現状

【船】
①労働力人口の減少、雇用のミスマッチによる人材不足
②技能・技術等の研修環境の不足 など

【食】
③域内需要の縮小による売上げ減少
④小規模事業者が多く、低水準の生産性、乏しい営業力 など

【観】
⑤国内観光客の減少、訪日外国人観光客の増加
⑥低い給与水準、人手不足、高い非正規雇用者比率 など

【企業誘致】
⑦オフィスフロアの不足
⑧企業ニーズに合致する産業人材の減少 など

課題

【船】
①人財確保、研修環境の充実
②研究・開発の強化による技術と生産性の向上 など

【食】
③マーケティング力向上
④アウトバウンド・インバウンドの販売戦略 など

【観】
⑤外国人観光客やMICE、富裕層等の誘致を図るための国際的な都市ブランドの確立
⑥観光関連産業の収益性の向上、経営安定化を図る需要の創造 など

【企業誘致】
⑦良質なオフィスフロアの確保
⑧優良な産業人材の育成
⑨都市間競争を勝ち抜くためのインセンティブ強化 など